



週間情報



No.0419

発行日 令和4年5月24日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

両会の動き

◆ 第79回全国消防長会救急委員会を開催

全国消防長会救急委員会

令和4年5月11日(水)、京都府京都市(都ホテル京都八条)において、第79回全国消防長会救急委員会を開催しました。

会議の議題等は、次のとおりです。

【報告事項】

- 1 第78回全国消防長会救急委員会以降の委員の異動及び副委員長・常任委員の選出について
- 2 「令和4年度救急車適正利用PRポスター」の審査結果について

【審議事項】

第80回全国消防長会救急委員会の開催地について

【情報交換】

- 1 救急救命士の再教育に関する取組状況について
- 2 救急服等の現状について
- 3 救急活動時間の短縮に向けた取組みについて

【情報提供】

- 1 「第31回全国救急隊員シンポジウム」の開催について
- 2 消防研究センターの体制と事業概要について
- 3 救急振興財団の事業等について



【救急委員会の様子】

◆ 第104回全国消防長会財政委員会を開催

全国消防長会財政委員会

令和4年5月12日（木）、高知県高知市（三翠園）において、第104回全国消防長会財政委員会を開催しました。

会議の議題等は、次のとおりです。

【報告事項】

第103回財政委員会以後の経過報告

【議題】

- 1 緊急防災・減災事業債の拡充について
- 2 緊急消防援助隊の体制を維持するための財政措置等について
- 3 消防防災分野におけるDXについて
- 4 消防水利の財政措置について
- 5 地方交付税の所要額の確保について
- 6 令和5年度国の予算概算要求に関する要望書（案）について

【情報交換・情報共有】

緊急防災・減災事業債の拡充について

【その他】

次期開催地について



【財政委員会委員長の開会挨拶の様子】



【財政委員会の様子】

消防本部の動き

行事

◆ 消防航空隊発足50周年記念イベントを実施

京都市消防局（京都）

京都市消防局では、こどもの日の令和4年5月5日（木）、京都消防ヘリポートに子どもたちを招待し、消防航空隊発足50周年記念イベントを実施しました。

消防航空隊は、昭和47年4月の発足以降、約4000回の出動を無事故で運行しています。

当日は、山岳救助現場を想定し、ホイスト装置を活用した吊り上げ救助訓練や消火バスケットによる空中消火訓練を披露した後、ヘリコプターの機体や装備を見学してもらいました。

今後も、京都の皆さまを災害から守るために、継続的に訓練を実施し、関係機関との連携強化を図り、災害対応力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】



【イベント時の記念撮影】

訓練

◆ 解体中の中学校校舎を使用した消防訓練を実施

袋井市森町広域行政組合袋井消防本部（静岡）

袋井市森町広域行政組合袋井消防本部では、令和4年5月9日（月）から12日（木）までの4日間、解体中の中学校校舎を使用した消防訓練を実施しました。

これは、令和4年1月28日（金）に市内建設事業協同組合と締結した「消防訓練場所の確保の協力に関する協定」に基づき実施したものです。

訓練では、大規模災害等で座屈した建物への消防隊の進入路や退出路を確保することを目的として、鉄筋コンクリート造の床や壁を、破壊器具を使用して効率的に破壊する手技を確認しました。

今後も訓練を継続し、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 解体予定の病院を活用した救助訓練を実施

岩国地区消防組合消防本部（山口）

岩国地区消防組合消防本部では、令和4年5月9日（月）から11日（水）までの3日間、解体予定の病院を活用した救助訓練を実施しました。

この訓練は、倒壊・座屈した建物内での活動を想定した救助技術の向上を目的に実施したものです。

訓練を通じて、ブリーチングの知識や技術の向上を図るとともに、各種救助資機材を活用した救助技術を習得することができ、職員にとってより実践的な経験を積む貴重な機会となりました。今後も、住民の安心・安全のために、救助技術のさらなる向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

研 修

◆ 電気鑑識実験盤を活用した火災調査担当職員研修を実施

可茂消防事務組合消防本部（岐阜）

可茂消防事務組合消防本部では、令和4年5月9日（月）から11日（水）までの3日間、電気鑑識実験盤を活用した火災調査担当職員研修を実施しました。

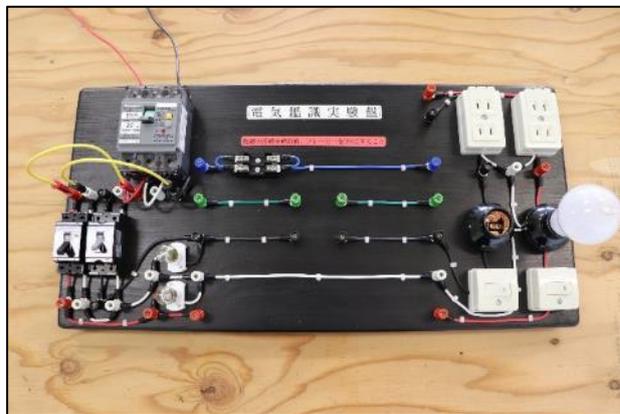
この電気鑑識実験盤は、職員が製作したもので、通電させることにより漏電遮断器の作動や短絡火花による着火等が再現でき、電気の仕組みや各種現象を学ぶことができます。

研修では、電気に関する基礎知識を学んだあとに、電気鑑識実験盤を活用して火災時の配電盤の状況確認と火災発生メカニズムを学びました。

今後も定期的に研修を実施し、出火原因の判断が的確に行えるよう知識の向上に努めてまいります。



【研修の様子】



【職員が製作した電気鑑識実験盤】

◆ 安全運転講習会を実施

郡山地方広域消防組合消防本部（福島）

郡山地方広域消防組合消防本部では、令和4年5月11日（水）、安全運転講習会を実施しました。

この講習会は、緊急走行をはじめ業務中の特殊な環境下における高度な安全運転技術や心構えを身につけることを目的として、若手職員や監督的立場の職員を対象に実施したものです。

当日は、公益社団法人全国市有物件災害共済会東北地区事務局から講師をお招きし、実際に起きた公務中の交通事故の事例や統計をもとに、事故発生時の対応、事故による社会的責任の重要性、交通事故を防止するための対策などについて学びました。

今後も、事故を起こさないための運転方法と事故の実態に対する知識の習得を図るとともに、基本に忠実な安全運転を徹底し、交通事故防止に努めてまいります。



【講習会の様子】

◆ ドローン運用アドバイザー研修会を実施

大隅肝属地区消防組合消防本部（鹿児島）

大隅肝属地区消防組合消防本部では、令和4年5月12日（木）、令和4年3月に配備した無人航空機（ドローン）の運用に向けて、ドローン運用アドバイザー研修会を開催しました。

本研修会では、総務省消防庁から委嘱されたドローン運用アドバイザーの藏菌進矢氏（鹿児島県いちき串木野市消防本部）を講師に迎え、ドローンに関する関係法令をはじめ、消防活動におけるドローンの活動事例や基本的な操縦方法を学びました。

当日は、雨天のため体育館内での開催となりましたが、43名の職員が参加し、ドローンを安全に運用するために大変有意義な研修会となりました。

今後も、各種災害時にドローンを生かせるよう訓練を継続し、活動技術の向上に努めてまいります。



【研修会の様子】

◆ ハラスメント研修会を開催

長門市消防本部（山口）

長門市消防本部では、令和4年5月15日（日）、16日（月）の2日間、全国消防長会顧問弁護士であるプラッサ法律事務所の増田直毅弁護士を講師にお招きし、ハラスメント研修会を開催しました。

この研修は、全消防職員がハラスメントについて正しく認識・理解し、ハラスメントの根絶を図ることを目的として開催したものです。

今後もハラスメント防止を推進し、より良い職場環境づくりに努めてまいります。



【研修会の様子】

その他

◆ 火災による死者ゼロ2000日を達成

東京消防庁（東京）

東京消防庁四谷消防署では、令和4年4月30日（土）をもって火災による死者ゼロ2000日を達成し、令和4年5月9日（月）、消防総監から表彰状が授与されました。5年間以上の長きにわたり、消防団、町会・自治会、関係団体、事業所など、多くの地域の皆さまと協力し得られた成果です。

四谷消防署管内に立地し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の感動と興奮を後世に伝える国立競技場のごとく、「火災による死者ゼロ」をさらなる未来につなげるため、改めて署員・団員一丸となって、今後とも地域の方々と共に「安心して住めるまち四谷」を目指し、一層の努力をしております。



【表彰後の記念撮影】



【国立競技場にて撮影】

◆ 初期消火協力者に表彰状を贈呈

香美市消防本部（高知）

香美市消防本部では、令和4年5月10日（火）、初期消火協力者7名に対して表彰状を贈呈しました。

本事案は、令和4年3月16日（水）、管内で発生した林野火災において、第一発見者である田中貴善氏が119番通報を行い、田中大貴氏、鈴木裕二氏の2名により消火器を使用した初期消火を開始しました。さらに、火災に気付いた植田安紗氏、萩野理恵氏、萩野龍氏の3名が近隣アパートにある消火器を集めるとともに、植田貴敦氏も消火活動に加わりました。7名が協力し、消火器12本を使用した初期消火が成功したことにより、消防隊が現場に到着する前に火災の被害を最小限に抑えることができたものです。

当日は、香美市長から初期消火協力者の勇敢な行動に対し、感謝の意を表しました。



【表彰状贈呈後の記念撮影 ※2名は都合により欠席】

◆ 初期消火功労者に対して感謝状を贈呈

八女消防本部（福岡）

八女消防本部では、令和4年5月10日（火）、初期消火功労表彰を行い、消防長から初期消火功労者3名に対して感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和4年4月2日（土）、市内で発生した建物火災において、近隣住民の家族3名が、発見から迅速な119番通報、的確な初期消火活動まで連携して実施したものです。

3名の危険を顧みない積極果敢な行動により、火災の拡大を防止し、被害を最小限に止めることができました。



【初期消火功労表彰後の記念撮影】

◆ 火災予防啓発活動を実施

大垣消防組合消防本部（岐阜）

大垣消防組合消防本部では、令和4年5月5日（木）、イオンモール大垣で火災予防啓発活動を実施しました。

これは、イオンモール大垣が開催する15周年記念祭に特設スペースを設けて、子どもを対象とした消防広報を実施したものです。

火災予防啓発活動では、「なりきり消防士」と称してちびっこ防火衣の装着体験を実施したほか、住宅用火災警報器、感震ブレーカーを展示し、設置を呼び掛けました。

今後も民間企業との連携を強化し、防火対策の強化を図ってまいります。



【火災予防啓発活動の様子】

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

稲敷広域消防本部（茨城）

稲敷広域消防本部では、令和4年5月11日（水）、消防協力者に対し感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和4年2月26日（土）、管内の事業所において、66歳男性が就業中に突然倒れた際に2名の職員が連携して、迅速な119番通報、的確な胸骨圧迫、事業所のAEDを使用した除細動を行ったものです。

男性は、救急隊到着前に呼吸、脈拍が再開し、搬送先の病院で治療後、社会復帰されました。

2名の勇気ある行動と適切な処置により、尊い命が救われました。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 消防職団員の安全管理等（熱中症対策）の再徹底について

（消防消第151号、消防地第333号、令和4年5月18日）

消防庁消防・救急課長、国民保護・防災部地域防災室長から各都道府県消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

消防職団員の安全管理等については、「消防職団員の教育訓練時における安全管理等の再徹底について」（平成21年7月8日付け消防消第197号）等により徹底をお願いしていますが、夏季期間中を中心に毎年のように熱中症に起因する事故が発生している状況にあります。また、気象庁の発表によれば、今年の夏（6～8月）の平均気温は、全国的に平年より高いとの予報があることから、より一層の対策が求められるところです。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/42e44cabb794757245a17cb2734e391ddb93a50d.pdf>)

に掲載されています。

消防庁 消防・救急課
職員第一係 松本・小島
TEL：03-5253-7522
FAX：03-5253-7532
E-mail：shokuin@soumu.go.jp

消防庁 国民保護・防災部
地域防災室 消防団係 青野・野崎
TEL：03-5253-7561
FAX：03-5253-7576
E-mail：syobodan@ml.soumu.go.jp

報道発表

◆ 危険物の規制に関する政令別表第一及び同令別表第二の総務省令で定める物質及び数量を指定する省令の一部を改正する省令（案）に対する意見公募

（令和4年5月18日、消防庁）

消防庁は、危険物の規制に関する政令別表第一及び同令別表第二の総務省令で定める物質及び数量を指定する省令の一部を改正する省令（案）の内容について、令和4年5月19日から6月20日までの間、意見を公募します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/220518_kiho.pdf) に掲載されています。

（連絡先）
消防庁危険物保安室 竹村、伊藤
TEL 03-5253-7524（直通）
FAX 03-5253-7534

情報提供

◆ 令和4年度予防技術講習会の開催案内について

主催：日本消防検定協会

協賛：全国消防機器協会

予防技術講習会の開催にあたりましては、新型コロナウイルス感染症対策につきまして、万全を期すこととしております。何かとご不自由をおかけすることとなりますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

1 東京会場

開催日 令和4年7月22日（金） 13時30分～16時30分

場 所 アルカディア市ヶ谷 富士の間（3階）

2 大阪会場

開催日 令和4年7月29日（金） 13時30分～16時30分

場 所 TKP ガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 バンケット3A（3階）

3 プログラム

時間	講演内容（予定）	講師（予定）
13:30～13:35	挨拶	日本消防検定協会理事長
13:35～14:20	予防行政の動向（その1） 住宅防火対策の推進等	消防庁予防課担当官
14:20～15:05	予防行政の動向（その2） 違反是正及び防火管理制度関係	消防庁予防課担当官
15:05～15:15	休憩	
15:15～16:00	予防行政の動向（その3） 消防用設備等に係る技術基準関係	消防庁予防課担当官
16:00～16:30	検定業務等に関する情報提供	日本消防検定協会担当者

4 対象者

消防本部等（都道府県を含む。）において、主に予防事務に従事されている職員の方を対象とします。

5 参加費用

受講料は、無料です。

※ 交通費、宿泊費等は、ご負担をお願いします。

6 定員

東京会場 150名 大阪会場 150名

7 申込方法など

予防技術講習会のご案内は、全国消防機器協会ホームページ
(<https://www.nfes.or.jp>) に掲載しています。

※ なお、受講申込につきましては、7月8日（金）までをお願い致します。

※ 講習会終了後の「予防技術情報交換会」につきましては、新型コロナウイルス感染症対策等に万全を期し、開催をすることとしております。

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0416）1ページ、機関誌「ほのお」2022年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 高田

原稿データは、kikakoho@fcaj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方にのみ掲載することがあります。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 高田

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方にのみ掲載することがあります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321 「週間情報」担当：企画課 石原

原稿データは、weekly@fcaj.gr.jpに送信願います。